

## 看護ケアの質評価・改善システムをご利用の皆様へ

### 看護ケアの質評価・改善システムデータの二次使用について（告示）

看護ケアの質評価・改善システムをご活用いただき、ありがとうございます。

このたび、本機構および前身である看護 QI 研究会のメンバーの一人である、鄭佳紅（ていけいこ）から、博士論文作成にあたり、これまでに看護ケアの質評価・改善システムに蓄積されたデータを利用したい旨の申し出がありました。システム上では、「入力していただいたデータはデータベースに蓄積され、統計処理されたあと、看護ケアの質を改善するための新しい情報として分析し、公表、提供されることがあります。」との表示をしているところですが、このたび具体的な研究内容が提示され、データの二次利用の申し出があったことから、本機構としては、鄭佳紅の博士論文の研究目的を鑑み、今後の質評価研究発展のため、二次利用をさせることは妥当と判断した次第です。

看護ケアの質評価・改善システムをご利用いただいた皆様におかれましては、本システムデータの二次利用をご了承いただきたく、ここに告示します。

尚、二次利用の具体的な方法については、下記のとおりです。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

#### －記－

#### 1. 研究テーマ・目的

テーマ 病院一般病棟における看護の質に関する研究

－アウトカムに影響を及ぼす構造・過程要因の検討－

目的 国内の一般病院の看護ケアの質の状況について明らかにし、その結果（アウトカム）に影響を及ぼす要因（構造，過程）について、詳細な分析をもとに明らかにする。

#### 2. 利用するデータの範囲

2006年～2013年にデータベースに蓄積されたすべてのデータ

#### 3. 研究倫理上の配慮

- 1) データは完全に匿名化（記号化）され、病院名、病棟名を特定できない。
- 2) データと病院、病棟を照合できる台帳は、別管理とする。
- 3) 不明な点、疑問等ある場合は、下記にご連絡ください。

#### 4. 二次利用により作成する論文は鄭氏の博士論文として青森県立保健大学に提出され、学会、学術誌等に公表されます。

一般社団法人日本看護質評価改善機構 代表理事 上泉和子

連絡先 住所 〒030-0858 青森市浜館字間瀬 58-1 青森県立保健大学

電話 017-765-2100（学長室） FAX 017-765-2110

E-mail k\_kakmiizumi@auhw.ac.jp

平成 26 年 7 月 24 日

一般社団法人日本看護質評価改善機構 代表 上泉和子

